

2024 年 12 月 31 日実施

# イタリア現代史

## 注意事項：

1. カンニングその他の不正行為は絶対に行ってはならない。
2. 解答はすべて解答用紙に記入せよ。
3. 試験時間は 50 分であり、150 点満点である。
4. 大問三つにより構成され、配点は最終ページに記載されている。
5. 人名を答えるとき、特に問題文中に指示がなければ名字 (*family name*) のみでもよい。
6. 問題文中の指示に背かない限り、翻訳により生じた差異は考慮される。
7. 煩雑な字、読み取りが困難と思われる字は不正解と判断する。

試験問題の無断転載を禁ずる。

# 1

次のイタリアの反ファシズムレジスタンスに関する文章を読み、後の問いに答えよ。

ムッソリーニの逮捕後、イタリアは北部の a. イタリア社会共和国 と南部のイタリア王国に二分された。北部のイタリア社会共和国はドイツに支配され、南部のイタリア王国 () 政府は 1943 年 10 月に連合軍の b. 共同参戦国 として宣戦布告し、ドイツとの対決姿勢を明らかにした。

イタリアの反ファシズムレジスタンスにおいては国民解放委員会 (CLN) が主要な地位を占める。これは反ファシズムを掲げる政党勢力、すなわち c. イタリア共産党、キリスト教民主党、プロレタリア統一イタリア社会党、行動党、イタリア自由党、労働民主党の六党で構成される。この国民解放委員会が主要なレジスタンス軍事組織であった。

ともに社会共和国と戦うイタリア王国と国民解放委員会であったが、両者には軋轢が存在していた。最大の問題は君主制の是非である。国王はファシズム独裁を容認した歴史があり、レジスタンスを反ファシズムの延長として捉えた国民解放委員会は王国政府を正当な政府として認めることができなかった。この問題は国民解放委員会内部での摩擦にもつながる。例えば国民解放委員会の最左派であった  は君主制の廃止・社会の民主的改革を要求し最も非妥協的な立場をとったが、対極最右派の  は王がファシズムに対する責任を取って退位すれば反ファシズムの課題は解決されるとした。

しかし、共産党の d. パルミーロ・トリアッティ は現下の課題は国民が総力を挙げてドイツの侵略者を一掃することであると考え、両者の摩擦の主因となる君主制の問題は当面解決できないとし、終戦まで棚上げすることを提案、共産党に入閣の準備があることも示した。このため第二次  政府が挙国一致政権として成立する。これがいわゆる  の転換である。なお、この決議は当初は「ナポリの転換」と呼ばれていた。しかし、決議が実際に実現されるのは  に樹立されたボノーミ政府になってのことであり、それからは  の転換と呼ばれるようになった。なお、この転換をもってしても、国民解放委員会と政権の摩擦は消えていないということに留意すべきである。

戦後イタリアにおいて、レジスタンスはしばしば必要以上に美化されてきた。いわゆる「レジスタンス神話」である。レジスタンスというものは暴力であり内戦であったという事実に向けないこの神話は、戦後イタリア政治において自己正当化に用いられることも多かった。

(1) 文章中の空欄 A, B について、次の各問に答えよ。

- ①  には当てはまる人物の名を答えよ。
- ②  にはイタリアのある都市が当てはまる。その都市の位置として最も適切なものを次の地図中のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。



- (2) 空欄 X, Y に当てはまる政党名をそれぞれ答えよ。
- (3) 下線 *a* について、イタリア社会共和国は法律上の首都はローマであったが、建国初期に政府がガルダ湖畔の町に置かれていたことから、その町の名前をとって呼ばれることもある。そのイタリア社会共和国の別称を答えよ。
- (4) 下線 *b* について、次のア～エの国のうち、共同参戦国として明らかに適切でないものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア. スペイン
- イ. フィンランド
- ウ. ブルガリア
- エ. ルーマニア

- (5) 下線 *c* について、次の戦前から戦後初期のイタリア共産党に関する I～III の記述の正誤の組み合わせとして正しいものを後のア～クの中から一つ選び、記号で答えよ。

- I. イタリア共産党は 1932 年にイタリア社会党から分裂して結成された共産主義政党であった。
- II. レジスタンス期のパルチザン組織として有名なのは、正義と自由やガリバルディ旅団、マッテオッティ旅団などがあるが、このうち共産党系のものはガリバルディ旅団である。
- III. 戦後、制憲議会議長に当初からイタリア共産党のウンベルト・テッラチャーニが就任した。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
I	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
II	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
III	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

(6) 下線 **d** について、トリアッティは 1956 年のイタリア共産党第 8 回大会において、ある構造改革路線を提出し採択された。その路線の名を答えよ。

(7) 1946 年 6 月 2 日の政体選択の国民投票についての次の I～III の記述の正誤として正しいものをア～クの中から一つ選び、記号で答えよ。

- I. キリスト教民主党は、カトリック教会からの意向により、共和制ではなく、王制を支持する立場を明確にした。
- II. 凡人党という政党は、一般的に左翼政党とされ、共和制を支持した。
- III. 連合軍は共和制を支持し、結果としては共和制支持が 54.3% となり勝利した。北部・中部では共和制支持が多く、南部では王制支持が優勢だった。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
I	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
II	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
III	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

(8) 次の表は 1946 年の憲法制定議会選挙での各政党・政党連合の得票率と議席数を表したものである。 (a) に当てはまる政党名を後のア～オの中から一つ選び記号で答えよ。

	得票率 (%)	議席数
Democrazia Cristiana	35.21	207
(a)	20.68	115
Partito Comunista Italiano	18.93	104
Unione Democratica Nazionale	6.78	41

ア. Fronte dell’Uomo Qualunque

イ. Movimento Sociale Italiano

ウ. Partito Liberale Italiano

エ. Partito Repubblicano Italiano

オ. Partito Socialista Italiano di Unità Proletaria

## 2

- (1) イタリア語で「汚職の町」を表す言葉で、1992年に表面化した政官業の癒着を表現した言葉を何というか。カタカナで答えよ。
- (2) 次は1992年総選挙の結果(下院)である。これについての以下の各問に答えよ。

	得票率 (%)	議席数
キリスト教民主党	29.66	206
左翼民主党	16.11	107
イタリア社会党	13.62	92
北部同盟	8.65	55

- ① 左翼民主党の成立について説明した次の文章の空欄に当てはまる語を A はア～エの中から、B はオ～クの中から一つ選び、記号で答えよ。

1990年3月のイタリア共産党大会で書記長  による新政党創設を求める動議が、3分の2の賛成を経て可決され、10月にその新政党の党名を左翼民主党とすることが決定された。1991年2月、左翼民主党が実際に創設されるが、反対派は  を創設した。

ア. アキレ・オケット  
イ. アレッサンドロ・ナッタ  
ウ. エンリコ・ベルリングエル  
エ. マッシモ・ダレーマ

オ. イタリア共産主義者党  
カ. 共産主義再建党  
キ. 批判的左翼  
ク. 労働者共産党

- ② 第四党となった北部同盟は、ウンベルト・ボッシによって結成された政党である。北部同盟は1992年総選挙の前にも、ロンバルディア地方やヴェネート地方(北部)などキリスト教民主党の拠点であり、カトリック系が強かった地域で支持を拡大していた。そのような地域をとある色を用いて何というか。
- (3) 1993年4月28日、カルロ・アツェリオ・チャンピを首相とする内閣が発足した。この内閣やこの内閣の改革に関する次のア～エの記述のうち、誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア. チャンピは元イタリア銀行総裁であり、チャンピ政権は、閣僚に多くの党派色の薄い専門家が起用され、テクノクラート政権であった。
- イ. チャンピ政権には、五党連合に加えて北部同盟や左翼民主党からも閣僚を派遣され、初めてイタリア共産党出身者が政権に加わった。

ウ. 電力公社を民営化しようとするも、反対が多く頓挫したが、他の公共企業の民営化を推し進めた。

エ. 二大勢力を軸とした政権交代を目指した、新選挙制度マタレムを導入し、小党乱立を阻止するための 4% の阻止条項が導入された。

(4) 次の I～III の文章の正誤として正しいものをア～クの中から一つ選び、記号で答えよ。

- I. 1994 年、キリスト教民主党は、主として党内左派がイタリア人民党を、党内右派がキリスト教民主中道を作る形で分裂した。
- II. イタリア共和党は、早期に (1) の温床である五党連合から脱したが、1994 年には党内の路線対立から分裂し、完全に消滅してしまった。
- III. 1994 年、イタリア社会党は、(1) の発端でもあったため解散し、後継政党はイタリア社会主義者となった。1995 年、元書記長ベッティーノ・クラクシはチュニジアに亡命した。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
I	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
II	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
III	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

(5) ネオファシズム政党のイタリア社会運動は、党首ジャンフランコ・フィーニによって、新政党へと生まれ変わり、政策もユダヤ人問題について謝罪するなど穏健化した。このフィーニによって生まれた新政党の名称を答えよ。

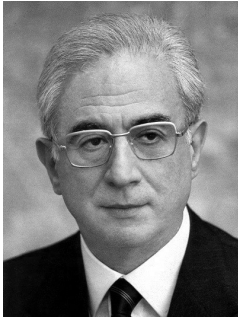
(6) 1994 年総選挙は、いわゆる第一共和制の終焉と北部同盟やフォルツァ・イタリアなどの成長を示す結果となった。そして、新首相として、フォルツァ・イタリア党首シルヴィオ・ベルルスコーニが就任する。以下の各問に答えよ。

① 1994 年総選挙に向けてベルルスコーニが北部で結成した右派連合は、フォルツァ・イタリアや北部同盟の他にも旧急進黨系や旧自由党系など幅広い右派勢力が加わった。この右派連合の名称を答えよ。

② 1994 年総選挙におけるフォルツァ・イタリアの下院得票率として最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア. 13.47%    イ. 21.01%    ウ. 39.49%    エ. 52.11%

③ 以下のア～エの写真のうち、ベルルスコーニのものを一つ選び、記号で答えよ。



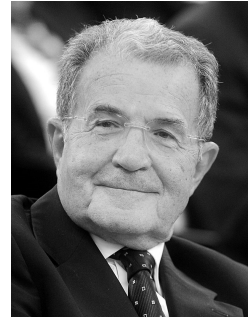
ア



イ



ウ



エ

(7) 第一次ベルルスコーニ政権の後、1995 年から 1996 年にかけて首相を務めた人物の名を答えよ。また、任命当時に大統領を務めていた人物の名も答えよ。

(8) 1995 年に結成された左翼民主党やイタリア刷新、イタリア社会主義者などの中道左派政党による、ある政党連合のシンボルとして最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。



ア



イ



ウ



エ

(9) 1999 年に結成された「民主主義者」という政党のシンボルには、ロバの仔が採用された。これはあるアメリカの政党のシンボルをヒントに作成されたものであった。そのアメリカの政党の名称を答えよ。

参考：民主主義者のシンボル



### 3

次は 2022 年総選挙の結果（下院）である。ただし、図にはアオスタ溪谷と海外の結果は示していない。

	比例得票率 (%)	比例代表	小選挙区	議席数
イタリアの同胞	26.00	69	49	119
民主党	19.07	57	8	69
同盟	8.77	23	42	66
五つ星運動	15.43	41	10	52
フォルツァ・イタリア	8.11	22	23	45

- (1) 2022 年総選挙においては、2020 年憲法改正により、下院定数が 630 から 400 に、上院定数（選挙で選ばれる）が 315 から 200 に削減されてから初めての選挙であった。その憲法改正は 2020 年 9 月に行われた国民投票の結果によるものであった。イタリアにおける国民投票に関する次のア～エの選択肢のうち、適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア. 国民投票は共和国憲法第 75 条に規定され、国民投票の提案が承認されるのは有効投票の過半数の賛成があることはもちろん、有権者の 3 分の 2 以上が投票に参加していることも求められるとしている。

イ. 民主主義の理念からして、共和国憲法は国民投票の対象として租税法律、予算法律なども認めているが、慣習としてそれらが行われたことはない。

ウ. 1970 年 12 月、下院で離婚を合法化するフォルトゥーナ＝バスリーニ法が制定されたが、その後キリスト教民主党右派により「離婚法廃止に向けた国民投票委員会」が創設され、国民投票が実施されたが、最終的には離婚法維持が決まった。

エ. マリオ・セーニは政治の停滞の打破のため、従来の比例代表制から比例代表制と小選挙区制の混合型にすることを訴え、国民投票が実施されたが、僅差で不成立に終わってしまった。しかし、その後混合型に移行する。

- (2) 2013 年 12 月に多数派プレミアム制を定める選挙法を違法とし、それからは多数派プレミアムは下院にのみ残ることとなったが、2017 年に 2 回目の違憲判決が出ると、多数派プレミアム制は全面的に廃止された。多数派プレミアム制に関する次のア～エの記述のうち、**適切でないもの**を一つ選び、記号で答えよ。

ア. 1923 年、ベニート・ムッソリーニは、下院で最大得票をした候補者名簿が、その得票率に関わらず、3 分の 2 の議席を獲得するという「アチェルボ法」を制定した。

イ. 1953 年、アルチーデ・デ・ガスペリは、下院で絶対多数を獲得した連合等が全議



席の 65% を獲得するという「いかさま法」を制定した。

ウ. 2005 年に制定されたボルチェルムでは、最も多く得票した候補者名簿連合 (又は候補者名簿) に対して、その得票率に関わらず無条件に、過半数の議席を与えとした。

エ. 2013 年の違憲判決を経て、民主党の新書記長レンツィはフォルツァ・イタリアのベルルスコーニと「ナザレノの協定」を結んで、選挙法の改正作業に取り組み、イタリアクムが 2015 年に成立した。

- (3) 現在のイタリアの首相の名を答えよ。また、政権与党を次のア～オの中から**すべて**選び、記号で答えよ。

ア. イタリアの同胞

イ. 民主党

ウ. 同盟

エ. 五つ星運動

オ. フォルツァ・イタリア

- (4) 下院第二党の民主党の成立過程に関する次の文章の空欄 X, Y に当てはまる政党名をそれぞれ答えよ。

民主党は左翼民主党の後継政党である  と、イタリア人民党や「民主主義者」によって結成された  、その他多くの小政党が合流して結成された。

次は 2024 年欧州議会選挙の結果である。

	得票率 (%)	議席数
イタリアの同胞	28.76	24
民主党	24.11	21
五つ星運動	9.98	8
フォルツァ・イタリア*1	9.59	8
同盟	8.97	8
緑の党と左派同盟	6.78	6

\*1 厳密にはフォルツァ・イタリア – 我ら穏健派

- (5) 第一党のイタリアの同胞と第二党の民主党が所属する欧州規模の政党 (欧州政党) を、それぞれ次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア. 欧州人民党 イ. 欧州社会党 ウ. 欧州保守改革党 エ. 欧州緑の党

- (6) 第六勢力となった「緑の党と左派同盟」は、ある二つの政党の連合である。その二つの政党の名をそれぞれ答えよ。

- (7) 次の文章の A に当てはまる語をアルファベット 8 字で答えよ。

イタリアでも欧州懐疑主義 (ヨーロッパの統合過程に対して反発する理念や思想) は無視することはできない。イギリスは 2020 年に欧州連合から脱退したが、イタリアでも同様の運動が起きていた。2020 年、イタリアの欧州連合からの脱退を意味する A という語を冠する政党が、ジャンルイジ・パラゴーネによって結成された。

- (8) イタリアの大統領に関する次の I~III の記述の正誤として正しいものをア~クの中から一つ選び、記号で答えよ。

- I. 第一共和制においては大統領の存在感は強いものではなかったが、第二共和制においては大統領は政治過程に積極的に関与するようになった。
- II. これまで、イタリア共和党は大統領を輩出したことはない。
- III. これまで大統領を二回以上務めたのはジョルジョ・ナポリターノしかない。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
I	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
II	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
III	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問題はこれで終わりである。

# 配点

**1**

各 4 点 (計 20 点) :

(1)②, (4), (5), (7), (8)

各 5 点 (計 25 点) :

(1)①, (2)X, Y, (3), (8)

**計 45 点**

**2**

各 4 点 (計 24 点) :

(2)①完答, (3), (4), (6)②③, (8)

各 5 点 (計 35 点) :

(1), (2)②, (5), (6)①, (7) 首相, 大統領, (9)

**計 59 点**

**3**

各 4 点 (計 16 点) :

(1), (2), (5) 完答, (8)

各 5 点 (計 30 点) :

(3) 首相, 与党 (与党は完答), (4)X, Y, (6) 完答, (7)

**計 46 点**